

第8回 教育ITソリューションEXPO 「平山小学校」「ICT活用教育推進室長」 登壇！

2017年5月17日（水）～19日（金）東京ビッグサイトにおいて「第8回教育ITソリューションEXPO」が開催され、会場は多くの学校・教育関係者で大変な熱気に包まれました。そのような中、平山小学校は小林洋之校長先生のご挨拶に続いて、3人の先生方が授業実践の紹介と模擬授業をされました。また、ICT活用教育推進室の小林正明室長は「東京都 日野市 ICT活用教育の取り組み」というタイトルでプレゼンを行いました。

実践発表「継承と挑戦！未来の教室！！」 日野市立平山小学校

スタディネットの実践報告

第3学年 国語

「詩を楽しもう『どきん』」

テキストマーキング機能の活用

- ・子供たちから出てきた考えや学習の前後で音読が変化したことなどを、授業の動画も見せながら具体的に紹介。

3年担任：三好陽香先生

（↓↓ 発表スライドより ↓↓）

成果（○全員、◎目標達成者、☆全体的に）

- マーキングをした部分が自分と友達では異なることを知り、友達のお気に入りの表現から、新たな捉え方をすることができた。
- ◎同じ部分でも、自分と友達の表現の捉え方に違いがあることに気づくことができた。
- ◎学級全員の考え方をタブレット上で見合うことができ、どの考えにもふれることができるよさがあった。
- ☆初めの音読と終わりの音読で表現の工夫に変化が見られた。

スタディノートの実践報告

第4学年 学級活動

「防災合同遠足に向けて」

思考マップの活用

- ・子供たちが互いにどのようなアドバイスや感想を書いて交流したか、どのように目標が具体的にになったのかなどを、子供が書いた画面や動画を見せながら具体的に紹介。

4年担任：鈴木瑞季先生

（↓↓ 発表スライドより ↓↓）

成果

- ・思考マップ上で、一人一人の目標を分類することで、リーダーとして、どのようなことを心がけたいのか、学級全体で確かめることができた。
- ・友達から様々なアドバイスや感想をもらうことで、より自分の目標が具体的にになった。
- ・防災合同遠足に向けての意欲を高めることができた。

スタディノート模擬授業&まとめ編

＜模擬授業のテーマ＞

住むなら災害の多い日本か それとも災害のない外国か

- 1 各自のタブレットPCでノートに考え、意見を書く。
- 2 横軸の左右にそれぞれ「日本」「外国」と書かれた思考マップ上に各自、自分の考えは軸上のどの辺りかを考えて置く（「絶対に日本」なら左端、「絶対に外国」なら右端）。
- 3 互いに、他の人の考えを読んだり、コメントを書いたりする。
- 4 他の人の考えを知ったことで、思考マップ上での自分の考えの位置が変わった人は場所を動かす。

未来の創り手となる子供たちの
幸せのために
これからも学び
挑戦し続けていきます！



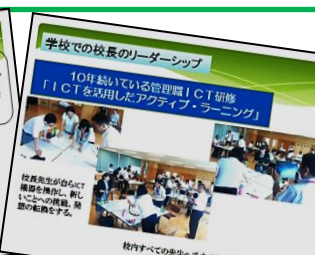
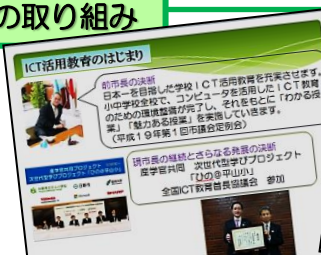
主幹教諭：折茂慎一郎先生

★平山小学校ではアクティブラーニングツールとしてスタディノートを日常的に活用していることや、平山小の子供たちは記述式の問題が得意なこと、相手に分かりやすく話を組み立てることに意欲的であること、などの調査結果を最後に紹介。

東京都日野市ICT活用教育の取り組み



ICT活用教育推進室 小林正明室長



日野市はどのようにICT活用教育に取り組んできたのかを紹介。